

～介護が必要となった主な原因 第2位の「脳卒中」に負けないために～

横浜市脳卒中市民啓発キャンペーン

本年度のキャンペーン期間は、平成29年10月25日～平成30年2月28日まで

脳血管疾患（脳卒中）による死亡率は年々低下傾向にあるものの、介護が必要となった主な原因として脳卒中の占める割合は極めて高く、認知症に次いで第2位となっています。（平成28年厚生労働省国民生活基礎調査）

横浜市では、脳卒中から市民の命を守り、後遺症の軽減につなげるよう、市民啓発キャンペーン期間を設け、予防や初期対応を紹介する講演会や、発症時の症状と適切な対応を示した世界的な標語である「FAST」の紹介活動を行っています。

また、毎年10月29日は、世界脳卒中機構の定める「世界脳卒中デー」となっています。

「FAST」脳卒中の代表的な3つの症状である「顔面の麻痺(F:face)」、「腕の麻痺(A:arm)」、「言葉の障害(S:speech)」に気が付いたら、「すぐに119番(T:time)」という標語。ファスト。

1 市民講演会 「知ろう防ごう脳卒中」

日時 平成29年10月25日（水）13:30～15:50（開場12:30）

会場 関内ホール 大ホール（横浜市中区住吉町4-42-1）

定員 800人 入場無料・事前申込み不要

*手話通訳、一時保育が必要な場合は10月11日までに要申込み

内容

第1部 「脳卒中の予防と治療」

横浜市立脳卒中・神経脊椎センター

副病院長 兼 神経内科部長 城倉 健

第2部 「横浜市における救急要請・救急活動 ～脳血管疾患～」

横浜市消防局救急課 救急救命士

第3部 横浜市消防音楽隊 コンサート



城倉 健



横浜市消防音楽隊

【問合せ先】横浜市立脳卒中・神経脊椎センター 市民講演会担当

TEL：045-753-2500（代）

FAX：045-753-2859

*当日、取材していただける報道関係の方は、会場1階の受付までお越しください。

2 脳卒中啓発リーフレットの配布・「FAST」の周知

市民の皆様への身近な場所に置いていただけるように、上記市民講演会のほか、市内各所でA4判のリーフレットを配布します。

（※デザインは変更となることがあります。）

配布時期 平成29年10月下旬から 配布枚数 約20,000枚

配布場所 【イベント】「横浜消防出初式2018」

場所：横浜赤レンガ倉庫イベント広場

日時：平成30年1月7日（日）10:30～15:00

【その他】本市公共施設等



3 脳卒中啓発ポスターの掲出

脳卒中発症時の症状と、発症した際の適切な対応方法の標語である「FAST」について、イラストを用いて分かりやすく紹介するポスターを掲出します。（※デザインは変更となることがあります。）



掲出開始時期 平成 29 年 10 月下旬から 掲出枚数 約 1,700 枚

掲出場所 交通機関の車内広告・駅、本市公共施設、市内医療機関、消防署・消防団掲示板等

【参考】交通機関の車内広告・駅での掲出期間

掲出交通機関	掲出期間	掲出方法
横浜市営地下鉄	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ~ 30 日 (木)	車内広告
相模鉄道	平成 29 年 11 月 13 日 (月) ~ 12 月 12 日 (火)	車内広告
みなとみらい線 (※)	平成 29 年 11 月 1 日 (水) ~ 28 日 (火)	駅貼り

※ 横浜駅に掲出

日本における脳卒中の現状

◇ **要介護者になる主な原因 第 2 位 (16.6%)**

(厚生労働省 平成 28 年国民生活基礎調査の概況)

◇ **脳卒中による死亡者数 約 11.2 万人**

(厚生労働省 平成 27 年人口動態統計 (確定数) の概況)

◇ **総患者数 約 117.9 万人**

(厚生労働省 平成 26 年患者調査の概況)

◇ **医療費 約 1.8 兆円**

(厚生労働省 平成 26 年度国民医療費の概況)

お問合せ先		
医療局病院経営本部	脳卒中・神経脊髄センター総務課長	本間 明 Tel 045-753-2609 (上記 1、2)
医療局 医療政策課	救急・災害医療担当課長	栗原政幸 Tel 045-671-3740 (上記 3)
消防局 救急課長		西川浩二 Tel 045-334-6771 (消防関連)